



双塔

カトリック新潟教会

2023年11月
No. 425

聖徒の交わりを生きる

助任司祭 トゥ・ダン・フック

日本古来の風習の一つとして毎年お盆を迎えることは、家族や一族が集まり、ご先祖様や故人様を偲び、供養する行事として定着しています。信仰があるか、ないかは別として我々は何らかの形である世と繋がって生きていくと感ずるでしょう。カトリック教会では、一日でも先立ってこの世を去った方々を忘れることはありません。世界のあらゆる所ではごミサが捧げられる時には教会は亡くなった全ての方を想い、彼らのために祈っています。また、典礼暦年では、毎年11月は死者の月とされています。11月1日に諸聖人を祝い、そして11月2日に死者の日としてごミサを捧げます。ミサ中の第二奉獻文で次のように唱えられます。

「復活の希望をもって眠りについたわたしたちの兄弟姉妹と、あなたのいつくしみのうちに亡くなったすべての人を心に留め、あなたの光の中に受け入れてください」。

また、第三奉獻文でも次のように唱えられます。

「亡くなったわたしたちの兄弟姉妹、また、み旨に従って生活し、いまはこの世を去ったすべての人を、あなたの国に受け入れてください。わたしたちもいつかその国で、いつまでもともにあなたの栄光にあずかり、喜びに満たされますように」。

実に、使徒信条の中で「聖徒の交わり」を信じますとわたしたちは信仰告白します。ここで「聖徒の交わり」という表現は何を意味するのでしょうか。この教えに関してカテキズムにはこう書いてあります。

「聖徒の交わりという表現は第一に、教会の成員すべてが共通していることから (Sancta) に参与していることを指します。聖なることがらとは、信仰、秘跡、とくに聖体、カリスマ、その他の靈的なものです。……」。また「この表現は聖なる人々 (Sancti) の交わり、すなわち死んで復活されたキリストの恵みによって結ばれた人々の交わりをも指します。彼らのうち、ある人々は地上を巡礼しています。ある人々は、この世の生活から去り、わたしたちの祈りにも助けられて自分を清めつつあります。そして、他の人々はすでに神の栄光を享受し、わたしたちのために執り成しています。これらの全ての人々がともに、三位一体の賛美と栄光のために、キリストのうちにただ一つの家族である教会を形作っています」。『カトリック教会のカテキズム要約』の194,195項への参照。

そうすると、「聖徒の交わり」を生きることは、単なる亡くなった兄弟姉妹を偲び、彼らのために祈るだけではありません。まず「聖徒の交わり」の第一の意味は神さまから発せられる聖性への参与です。また諸聖人と天使たちといった勝利教会の部分に属する者たちと共に神を賛美し、彼らと交わり、取り次ぎを願います。その中で教会によって列聖される諸聖人だけではなく、神の慈しみによって既に清められた亡くなったわたしたちのご先祖や家族も含まれています。ごミサの冒頭での回心の儀では、願われるようにわたしたちは、全能の神さまと目に見える兄弟姉妹に対して過ちを認め、赦しを願い求めると同時に、天上教会にいる聖母マリア、すべての天使と聖人にも祈っていただくように願うわけです。さらに、人間の弱さによって亡くなった後にも永遠の喜びにふさわしい者となるよう最終的浄化が必要される人々をも思い起こしながら、彼らのためにも祈ります。最後に、地上教会の兄弟姉妹の皆さんとの交わりです。つまり、世界に広がるキリスト者は地上を旅しながら、救いを願い求める兄弟姉妹とともに信仰をもって歩んでいきます。

キリスト者は単なる一人で善を求め、悪と戦う一人で生きるのではなく、目に見える者や目に見えない諸聖人、つまり、キリストのうちにただ一つの家族となる教会の皆さんとともに歩み続けることが出来るよう心掛けて参りましょう。

インフォメーション!

●聖書勉強会

日時 毎週水曜日 午前10時～ 会場 カトリックセンター研究室 指導 ラウール神父

●はじめて教会を訪れる人のための聖書勉強会

ラウール神父にご相談ください。

●信仰養成講座「知ってるつもり!?!」

日時 毎月第2土曜日 会場 カトリックセンター研究室 指導 ラウール神父

●月曜会（秋田の聖母を通して祈る会）（野村）

成井司教のミサとロザリオの祈り（どなたでも、ミサのみ参加も可）

今後の予定 11月6日、12月18日、2024年1、2月は休会

時間 午前11時～ 指導 成井司教 会場 新潟教会聖堂

主日のミサと同様、コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いします。

●お掃除についてお願い

センター研究室、2階ホール、台所は使用した方がお掃除をしてください。よろしくお願
いします。

とよかぜ便り

●新潟地区信仰養成講座 10月7日(土)

当教会センターのホールにおいて「たがいに開かれ、ともに歩むために」をテーマに、新潟地区信仰養成講座が成井司教様を講師に招き開かれた。違う背景の人が存在するなかで、どのような共同体を目指すのかなどについてリラックスした雰囲気の中で語られた。

国籍、主義主張、世代、性自認など違う背景の人とともに生きるいくつかのモデル（同化主義、多文化主義、諸文化の交わり主義）、価値観や国の文化の違いを数値で比較した日本の特徴（社会心理学者ヘールト・ホフステードの6次元モデルによる）や交わりを深めるための五つの段階などをわかりやすく話された。

キーワードとして諸文化の交わり主義=Interculturalityを紹介された。それは、元からいる人が新しく来た背景が異なる人と、自分を変えられる勇気と覚悟を持って関わり、互いの違いから学び合い、変えられ合い、成長しあうモデルのこと。自国の文化的特徴や価値観の傾向を知ること、相手の背景について多くのことを知らないという自覚をもった上で、人と交わり垣根を越えてゆく必要性を語られた。



2023年11月の予定

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等、教会の行事
1日(水)	諸聖人(祭日)
2日(木)	死者の日
3日(金)	・ミサ 10:00 (初金)
5日(日)	年間第31主日 帰天された方のためのミサ (9:30) ・小教区評議会 (9:30 ミサ後) ・英語ミサ (12:00) ・清掃日 (センター、外のトイレ; 英語ミサ後) ・地区の墓参りと清掃 (寺尾墓地)
9日(木)	ラテラン教会の献堂(祝日)
11日(土)	・信仰養成講座「知ってるつもり!?!」 (10:00 研究室)
12日(日)	年間第32主日 こどものためのミサ ・総務部会 (9:30 ミサ後 研究室)
19日(日)	年間第33主日 貧しい人のための世界祈願日 19日~26日 聖書週間 ・ベトナム語ミサ (12:00) ・清掃日 (聖堂、外のトイレ、センター; 9:30 ミサ後) ・広報部会 (9:30 ミサ後)
26日(日)	王であるキリスト(年間第34週) 世界青年の日 ・季刊双塔発行 ・茶話会 ・教会維持費の整理 (9:30 ミサ後 事務室) ・国際協力部会 (茶話会后 研究室) ・馬小屋、外のイルミネーション、クリスマスツリーの飾り付け (9:30 ミサ後)
30日(木)	聖アンデレ使徒(祝日)

※「教会の行事」が変更される場合は、日曜日毎に発行の「お知らせ」などでお伝えします。

※ ミサ時間

主日日曜日 (7:00、9:30) 英語ミサ (第1日曜 12:00)

ベトナム語ミサ (第3日曜 12:00)

週日 (7:00、金曜のみ 10:00)

